

科目名称：	日本国憲法	
担当者名：	吉岡 利恭	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>憲法の授業を始めるに先立ち、第1回で概要を確認します。その上で、第2回以降、憲法の成立過程・内容を考察していきます。憲法は自分たちとは関わりがないもの、難しくよく分らないと答える人がいると思います。また、その存在を認識することなく生活をしている場合が少なからずあると思います。しかし、憲法は私たちの国の「かたち」・「きまりの中のきまり」です。条文を丁寧に読み、憲法に関するさまざまな問題について裁判例や映像を通し共に考え、憲法に関する関心を持ち、理解を深めることを目的とします。第三章の基本的な人権に重点を置きます。また、新聞を読むことにより、現実の社会との関わりを確認していきたいと思ひます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>「憲法が、その国の性格をきめてしまう・・・」といわれます。憲法に定められた条文を読み、その内容が理解できる。さらに、社会状況を踏まえながら現実の生活と憲法の関わりを考察できることを目標にしたいと思ひます。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)		50	30	20	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）
なし	

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
表現（聞きやすさ）	発表の声の大きさ・高さ・速度・姿勢のいずれもが優れている。	発表の声の大きさ・高さ・速度・姿勢のうち3要素が優れている。	発表の声の大きさ・高さ・速度・姿勢のうち2要素が優れている。	発表の声の大きさ・高さ・速度・姿勢のうち優れている要素が1以下である。
内容の明確さ	新聞記事の内容が3紙とも明確でわかりやすい。	新聞記事の内容が3紙のうち2紙がとも明確でわかりやすい。	新聞記事の内容が3紙のうち1紙がとも明確でわかりやすい。	新聞記事の内容が3紙とも不明確でわかりにくい。
コメントの良さ	3紙に関する分析・比較がしっかりなされており、コメントに説得力がある。	3紙に関する分析・比較がよくなされているが、内容の分析にやや弱さがある。	3紙の分析・比較に偏りがあり、コメントも形式的である。	3紙の分析・比較が明確になされておらず、自分の意見が表明されていない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 日本国憲法・大日本帝国憲法の構成 日本国憲法の構成に関する理解度を、クリッカーを使用して調べる。また、条文構成を表にすることにより、画憲法の特徴を調べる。	（事後学習） 両憲法の条文構成を確認し、特色を把握しておく。	30分
第2回 憲法とは何か：日本国憲法の全体像を通して、憲法の性格を調べる。	教科書P34～39を読み、その特色を確認しておく。新聞第一面のチェックの課題をやっておく。	30分
第3回 明治憲法について 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション）	配布資料の理解および新聞第一面チェックの課題をやっておく。	40分
第4回 日本国憲法の成立過程1：配布資料により成立過程の概要を把握する。 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション）	配布資料に目を通し、空欄を確認する。新聞第一面チェックをやっておく。	40分
第5回 日本国憲法の成立過程2：ビデオを視聴し、成立過程の特色を把握する。 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション）	前回配布資料により、成立過程の概要をまとめておく。新聞第一面チェックをやっておく。	40分
第6回 憲法前文：前文の現代語訳（意訳）をグループワークで行い、発表する。 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション） 確認小テスト	前回までの内容を確認しておく憲法前文の重要語句の意味を調べる。新聞第一面チェックをやっておく。	40分
第7回 天皇 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション）	重要語句の意味を調べておく。新聞第一面チェックをやっておく。	40分
第8回 戦争の放棄：ビデオを視聴し、レポートを作成する。 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション）	教科書に目を通し、また重要語句の意味を調べておく。新聞第一面チェックの課題をやっておく。	40分
第9回 基本的人権（自由権）・確認小テスト 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション）	前文～前回までの内容を確認しておく。重要語句の意味を調べておく。新聞第一面チェックをやっておくこと。	40分
第10回 基本的人権（社会権） 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション）	教科書に目を通し、また重要語句の意味を調べておく。新聞第一面チェックの課題をやっておく。	40分
第11回 基本的人権（参政権・平等権） 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション）	配布資料に目を通し概要を理解しておく。新聞第一面チェックをやっておくこと。	40分
第12回 基本的人権（受益権） 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション）	配布資料に目を通し概要を理解しておく。新聞第一面チェックをやっておくこと。	40分
第13回 国会・内閣・司法、地方自治 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション）	教科書に目を通し、また重要語句の意味を調べておく。新聞第一面チェックの課題をやっておく。	40分
第14回 子どもの人権1：憲法条文との関わりをグループワークで調べる。 新聞第1面チェックの発表（プレゼンテーション） 確認小テスト	憲法条文に目を通し、子どもの人権に関わる部分を把握しておく。基本的人権～前回までの内容を確認しておくこと。	40分
第15回 子どもの人権2：子どもの権利条約および国内法との関係	配布資料に目を通し、重要語句の意味を調べておく。	40分
事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。事前事後学修としては、重要語句の意味調べや概要把握、新聞第1面チェック等を指定用紙に記入しファイルしておくこととなる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。 小テスト50% 授業レポート10%、新聞課題20%、授業への積極的関与（ファイル作成など）20%で評価する。		
課題に対するフィードバック		
小テストは採点后解説する。授業レポート・ファイルは評価して返却。新聞課題はルーブリックで評価。		
教科書・参考書		
井上ひさし『子どもにつたえる日本国憲法』（講談社） その他、授業の中で判例等の資料を適宜配布し、参考書についても示す。		